

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2004年11月16日

2004年11月14日現在：

この週の気温は南東（SE）地区では平年を多少下回ったが、乾燥地他の東部中央（EC）地区では平均気温は平年を2～4度F上回った。Pullmanの最高気温は61度Fであった。降雨は州東部では殆ど記録されなかった。

冬小麦は播種圃場の95%にて出芽した。出芽は多少昨年並びに5年平均より遅い状態であったが、気温が上昇したことより生育状況は良好と報告された。

土壌水分及び灌漑用水：11月14日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	0	17	76	7
5-Year Ave (%)	8	35	55	2
Subsoil (%)	0	26	73	1
5-Year Ave (%)	11	45	44	0
Irrigation Water (%)	0	2	98	0

小麦生育状況：11月14日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Winter wheat Planted (%)	100	100	100	100
Emerged (%)	95	93	97	96

冬小麦作柄状況：11月14日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Dry land wheat (%)	0	1	18	80	1
Irrigation land (%)	0	0	0	100	0

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

2005年産小麦の作柄並びに気象状況報告は、2005年4月迄休刊と致します。但し、特別なニュースが有る場合はその都度掲載致します。

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>